

17 Asking for information (attribution)

会話を聞いて、答えを選びましょう。

Is Kei a student? (圭は生徒ですか?)

A. **Yes.** (はい。)

B. **No.** (いいえ。)

正解: A. **Yes.** (はい。)

解説: 相手の状態や情報を知りたい時、"Are you ~?" 「あなたは～ですか?」と尋ねます。ここでは「圭が生徒であるかどうか」についての情報を尋ねるために"Is Kei a student?"となっています。ハインリックの質問 You're a student here, aren't you? (君はこの生徒だよ。)に対して圭は Yes. (そう。)と答えています。そこで正解は **Yes.** (はい。)となります。

ところで、 You're a student here, aren't you? を直訳すると「君はこの生徒です、違いますか?」となります。この質問に対して、「(いいえ、違います) この生徒です」と答えるときには、 Yes(, I am.), 「(はい、違います) この生徒ではありません」と答えるときには、No (, I'm not.)といえます。つまり、日本語では、「違うかどうか」という部分について「はい/いいえ」と答えるのに対し、英語では、自分の答えの内容が肯定なら yes、否定なら no で答えます。

What grade is Kei in? (圭は何年生ですか?)

- | | | | |
|------------|------------------|---------------|----------|
| The | A. first | grade. | (1 年生。) |
| | B. second | | (2 年生。) |
| | C. third | | (3 年生。) |
| | D. fourth | | (4 年生。) |
| | E. fifth | | (5 年生。) |
| | F. sixth | | (6 年生。) |

正解: E. **fifth** (5 年生。)

解説: ハインリックの質問 How about you? (君についてはどうですか? 君は何年生ですか?) に対して圭は I'm a fifth grade student. (ぼくは5年生。)と答えています。そこで正解は **fifth** (5 年生。) となります。

What grade is Heinrich in? (ハインリックは何年生ですか?)

- | | | | |
|------------|------------------|---------------|----------|
| The | A. first | grade. | (1 年生。) |
| | B. second | | (2 年生。) |
| | C. third | | (3 年生。) |
| | D. fourth | | (4 年生。) |

E. **fifth** (5 年生。)

F. **sixth** (6 年生。)

正解 : D. **fourth** (4 年生。)

解説 : 「何年生ですか？」と相手に学年を尋ねる時、 **What grade are you in?**を使います。

圭のこの質問に対してハインリックは **I'm in the fourth grade.** (4 年生。) と答えています。そこで正解は **fourth** (4 年生。) となります。また、この表現は所属 (どこに属しているか) を表す時に使うので、学年以外でも次のように応用することができます。

(例) **What club are you in?** ----- **I'm in the soccer club.**

(あなたは何クラブですか？) (サッカー部です。)

Which class are you in? ----- **I'm in A class.**

(あなたは何組ですか？) (A 組です。)